

# 市民建産常任委員会報告書

令和 4 年 12 月 6 日

委員長 古賀 誠視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、令和 4 年 9 月 26 日、10 月 24 日、10 月 27 日に関係部課長等に出席を求め、委員会を開催いたしました。

## 建設産業部

### 都市整備課・古賀駅周辺開発推進室

都市計画係から、馬渡地区地区計画、釜田地区地区計画、古賀グリーンパーク地区地区計画の報告がありました。また、大内田地区の開発の報告がありました。

古賀駅周辺開発推進室から、古賀駅東口周辺地区整備に係る説明会（第 4 回）、古賀駅東口の居心地の良い空間づくりに向けた市民ワークショップ（第 2 回）の報告がありました。古賀駅西口周辺エリアの良好な環境づくりに向けたアンケートについて、10 月 21 日から市民や過去 2 年以内に古賀駅周辺で 30 分以上滞在されたことがある人で、NTT ドコモが提供している d ポイントクラブへ入会している人を対象にアンケートを行っているとの報告がありました。

委員から、古賀駅東口周辺地区整備に係る説明会等の今後の進め方、また、住民の意見反映は、との問いに、現在策定中のガイドラインが固まれば説明会を予定しており、住民の意見は内部で検討し、反映できるところは反映させていきたいとのこと。

説明会は 4 回開催されているが参加者の合計は、との問いに、1 回の説明会で約 50 人の参加があり、計 200 人が参加したとのこと。

アンケート調査は、NTT ドコモの利用者だけが対象なのか、何人ぐらいが対象か、との問いに、d ポイントクラブは NTT ドコモの利用者のみだけではなく、他のキャリアでも入会することができる。この手法は対象者を郵便番号の指定や位置情報を用いて、JR 古賀駅周辺を確実に利用した人を絞り出すことができるので採用した。アンケート調査数は約 1 万人を対象に、1,500 人程度の回答を目標としているとのこと。

古賀グリーンパークの照明が切れて暗くなっているが管理はどのようになっているのか、との問いに、原因は調査中だが、判明次第、切れている約 30 個の照明については修繕工事等にて今年度中に対応したいとのこと。

## 建設課

土木係から、主要な事業の進捗状況の報告がありました。西鉄宮地岳線跡地について、中川区は翁汐入線道路改良工事を契約済みで、工事内容を精査していく中で、バラスト撤去工事を視覚障がい者誘導表示設置工事に変更した。また、花見南区では 8 月 9 日に整備案についての説明会を、古賀北区では 8 月 5 日に対話集会を実施したとの報告がありました。

管理係から、県事業について、市役所そばの親水空間の護岸工事、中川の福岡東医療センター付近の立木の伐採工事の報告がありました。

地籍調査係から、地籍調査事業の進捗の報告がありました。

委員から、翁汐入線道路改良工事の工事内容が変わった理由と工事箇所は、との問いに、理

由は、視覚障がい者誘導表示設置工事の方が優先順位が高いと判断したため。工事箇所は豊国線より南、ビッグウッド裏の中川区の区間になり、古賀北区境までを工事予定とのこと。

花見佐谷線の詳細設計業務委託の進捗状況と今後のスケジュール、完了時期は、との問いに、現在、測量中で年度内には詳細設計を完了させたい。今後のスケジュールは詳細設計が固まれば来年度に用地測量等を実施したい。完了時期は用地買収にどのくらい時間がかかるか定かではないが、一路線に10年ぐらいかかると言われているとのこと。

JR千鳥駅東口周辺整備の進捗状況は、との問いに、現在、詳細設計中で来年度施工予定だが、施工前に埋蔵文化財の調査があるため、調査結果次第では進捗が変わっていく可能性があるとのこと。

## 上下水道課

上水道係、下水道係から、令和4年度の工事箇所の報告がありました。

その他として、上下水道課主催イベントの結果について、イベント当日は多くの市民が来場し、来場者から178件のアンケート回答を頂いたとの報告がありました。

委員から、来年度の予算編成の中で、水道料金等の改定についての考えは、との問いに、古賀市都市計画マスタープランに合わせた更新計画を策定中であることから、料金に影響することはないと考えているとのこと。

## 農林振興課

農林振興係から、農家直売！軽トラ市の開催について、令和4年12月18日の日曜日に開催予定との報告がありました。

農政係から、クラウドファンディング型チャレンジ支援事業（令和4年度寄附金募集）について、今年度の募集事業に対しては新規就農者の支援型1件、女性農業者の支援型1件、観光農園支援型3件の申込みがあり、寄附の受付を開始する予定。寄附の受付事務は、令和4年11月上旬を目標に、寄附期限は12月末までと考えている。集まった寄附額を来年度の予算として計上する予定との報告がありました。

地域おこし協力隊の2回目の募集（ふるさとの味伝承事業）について、採用者は1人で令和5年1月から赴任予定との報告がありました。

農林土木係から、農業用施設管理事業、農業基盤整備促進事業（県営事業）、防災力強化事業の報告がありました。

委員から、軽トラ市は毎年盛況だが、今回は何件の生産者が参加予定なのか、との問いに、現在募集中であるが、昨年冬は約13件で、その程度になるのではないかと考えているとのこと。開催場所が市役所駐車場で、天候に左右されると思うが、との問いに、できる限りの配慮を考えているとのこと。

## 商工政策課

商業観光係から、消費生活センター、JR古賀駅西口エリア活性化プロジェクト、燃料費高騰対策運送事業者等支援金、第37回まつり古賀の開催、古賀市キャッシュレス商品券（こがPay）の報告がありました。

事業者支援係から、無料職業紹介所の報告がありました。ふるさと応援寄附について、昨年度の同時期と比較して4,650万円のプラスで、令和2年度年間寄附額の7億5,000万円並みになる可能性があるとの報告がありました。

その他として、株式会社ピエトロの新工場が2025年秋に青柳釜田地区に建設され、稼働予定との報告がありました。

委員から、燃料費高騰対策運送事業者等支援金について、白ナンバーを除外したために支援金を受け取れなかった事業所があると聞いているが状況は、との問いに、課内でも協議したが、白ナンバーは事業用以外に自家用に使用されることから、支援金としては不適切と判断したとのこと。現在の同支援金の執行率は何%か。また、今年度内の予定は、との問いに、現執行率は約33%で、まだ審査を受け付けているため、最終執行率は約40%と予測しているとのこと。

福岡県公立古賀竟成館高校の生徒によるまちづくりイベントについて、主催が高校生ということでデジタル媒体等を使用した発信などにもつながっているのか、との問いに、今回の周知方法はチラシの配布ではなく、SNSを駆使して周知することを予定しているとのこと。

キャッシュレス商品券は評判がよく、すぐに売り切れたとのことだが、購入者の状況は、との問いに、キャンペーンが来年1月までで、実績報告を受けた後、詳しく分析したものを報告したいと考えているとのこと。

ふるさと納税の寄附件数が増えている要因は楽天のふるさと納税のページをリニューアルしたためか、との問いに、今年から売れそうな新規商品を出品したこと、また、広告費を増額し露出を多くしてPRすることで、それを見た人が購入していることの両面で効果的に回っているとのこと。

## 市民部

### 市民国保課

市民係から、令和4年度9月末の総人口、外国人国籍別人口、個人番号カード交付枚数、コンビニ交付サービス利用実績の報告がありました。マイナンバーカード（以下、カード）申請出張サポートの取組結果について、マイナポイントの対象となるカードの申請期限が当初は9月末とされていたため、その期限に合わせ8月下旬から9月末まで出張申請サポートとして、市内の施設延べ49か所で計802人のサポートを行い、カードの普及促進に取り組むことができたとの報告がありました。

国保係から、国民健康保険世帯数等の報告がありました。

年金・医療係から、各種制度対象者集計表の報告がありました。後期高齢者医療の2割負担について、2割負担の対象者は10月1日現在、全体の21.04%となっている。窓口負担割合が2割への変更と、一月当たりの外来医療の窓口負担増加額を3,000円までに抑える配慮措置については、広報紙への掲載や対象者に対して説明リーフレットを送付するなど4回お知らせしたとの報告がありました。

委員から、8月下旬から9月末までにカードの発行で802人のサポートを行ったとあるが、9月は何人がカードを取得し、交付率は何%になったのか、との問いに、9月の交付枚数は719枚、交付率は47.6%。出張申請サポートはあくまでも申請をサポートするものであり、順次交付が進めば、さらに交付枚数が増えると予測しているとのこと。

カードの保険証との紐づけは、最終的に全国民に強制になるのか。カードを持ちたくないと言う人に対し、国から具体的な対応策が示されているのか、との問いに、国からは強制的なこととは何も言われていない。カードがない人でも保険医療が受けられる体制を、国が示す方針に沿って構築していきたいとのこと。カードを保険証として利用可能な医療機関は、との問いに、10月16日現在で市内38の医療機関等があり、内訳は11か所が病院・診療所、13か所が歯科医院、14か所が薬局とのこと。

後期高齢者医療の 2 割負担について、上限が 3,000 円までで抑えられるという、窓口負担が 3,000 円で抑えられると勘違いする人もあり、もっと分かりやすく知らせる方法はないのか、との問いに、窓口で質問があったときは、あくまでも負担増になった場合の上限が 3,000 円までであると伝えており、1 か月に複数の医療機関を受診する場合は 3,000 円を超えることがあるが、高額療養費の手続きを行えば、後で払戻しがあるので安心してほしいと説明している。今後も窓口や電話等で丁寧に説明していくとのこと。

## 人権センター

**人権教育・啓発係**から、人権教育・啓発事業として人権尊重週間の取組、まちづくり出前講座、人権相談事業として人権擁護委員活動支援、人権センター職員対応件数、人権関係団体活動推進事業として古賀市社会「同和」教育推進協議会委託事業の報告がありました。

**男女共同参画・多様性推進係**から、女性の活躍推進事業として女性起業フォローアップセミナー、性的マイノリティ支援事業として性的マイノリティ交流会の報告がありました。男女共同参画啓発事業として図書館名画会と男女共同参画のコラボ事業で映画の上映会を行い、参加者数は 37 人との報告がありました。

**委員**から、10 月から産後パパ育休制度の支援がスタートしたが、男性職員に対して人権センターでもサポート等を行うべきでは、との問いに、職員に関しては人事秘書課の所管となっているが、人権センターとしても職員研修を行うなど啓発を行っている。また、第 3 次古賀市男女共同参画計画における計画の成果指標に男性職員の育児休業取得率を明示しており、目標に向かって取り組んでいる。今後は市民に対しても、育児休業取得についての周知啓発を徹底していきたいとのこと。

## 収納管理課

**収納管理課長**から、令和 4 年度の収納状況、滞納処分状況の報告がありました。

**委員**から、収納率については、昨年度と変わらない状況だが、新型コロナの影響等はいまだ生じているのか、との問いに、新型コロナの影響で搜索等が実施できていないため、若干影響は生じているとのこと。

## 市税課

**市税課長**から、税を考える週間（11/11～11/17）について、2022 年度「税に関する高校生の作文」で福岡県立玄界高等学校の生徒 1 人が、古賀市長賞を受賞したとの報告がありました。質疑はありませんでした。

## 環境課

**環境整備係**から、生物多様性古賀戦略の推進、市民向け環境講座、飼い主のいない猫に関する取組、KOGA 環境ひろばの開催の報告がありました。地球温暖化対策事業について、市の事務事業に係るエネルギー使用量等の確定値では、昨年度のエネルギー使用量が 3,582.22 kℓで、基準年度の 2013 年度比で 2.7%削減し、温室効果ガスの排出量は 6,184.40t-CO<sub>2</sub>で、基準年度から 33.7%削減したとの報告がありました。

**資源循環推進係**から、プラスチックに関する実証実験、フードドライブ、ダンボールコンポスト講座、環境展の報告がありました。

**海津木苑**から、処理状況、海津木苑施設等啓発の報告がありました。汚泥再生処理センター

整備事業について、工事の進捗状況は9月末で28.1%との報告がありました。

委員から、グリーンカーテン事業が最近進んでいないように感じるが、との問いに、グリーンカーテン事業はぐりんぐりん古賀の共働事業の中で取組を継続しており、そこで市民への啓発を行っているとのこと。

プラスチック製品に関する実証実験について、現在の進捗状況や課題は、との問いに、千鳥タウンコート区と舞の里3区をモデル地区として実証実験を行っており、10月分は終了したが、11月も同じような形で実証実験に取り組み、アンケート調査も実施する予定。宗像市と合同で実証実験に取り組んでいることから、今後、環境省の事業を活用し、集まったプラスチックの調査や数量・重量及び組成調査のデータを基に、今年度中に報告ができればとのこと。

また、市民建産常任委員会では、10月27日に環境課の所管事務調査のため、現在建設中の汚泥再生処理センターの行政視察を行っております。

以上、議会閉会中の所管事務調査報告を終わります。